

岡山市の重要生態系リスト（案）への 意見募集（パブリックコメント）の結果について

1 募集期間

令和4年6月15日（水曜日）から令和4年7月15日（金曜日）まで

2 意見数

6件

3 意見提出人数

2人

4 意見の概要及び市の考え方

No.	ページ	意見の概要	市の考え方
1	P2	スイゲンゼニタナゴ（種の保存法指定）やカワバタモロコ（県条例指定）等の生息情報を岡山県からも個別に情報収集し、抽出に反映してはどうか。	今回、重要生態系の抽出にあたっては、岡山市の保有する絶滅危惧種のデータを用いて作成した集積評価図を活用しています。本リストの改訂までには、岡山県からの情報収集を含め、できるだけの収集方法を探って参ります。
2	P2	岡山市サウスビレッジ以东の倉敷川下流域の干拓平野は、様々な野鳥の越冬地として貴重な場所であるため、抽出されることを期待する。	当該地については、今回の抽出項目には適合しなかったため、抽出しませんでした。本リストの改訂にあたっては、いただいたご意見を参考にさせていただきます。
3	P9	次期「岡山市生物多様性地域戦略」の策定にあたっては、内容が学術的になり過ぎないように、市民にもわかりやすい表現として欲しい。	本戦略の改定にあたっては、スリム化を前提とし、わかりやすさ、親しみやすさの視点で、市民の生物多様性への興味や関心を引き出せる内容としたいと考えています。

（※次ページに続く）

No.	ページ	意見の概要	市の考え方
4	P9	本リストで抽出された地域の自然を活用し、子どもの情操教育の場となり得る場所づくりを進めて欲しい。	本リストでは、公民館や小中学校で環境学習フィールドとされた地域も抽出しました。リストを活用し、こういった地域の周知や拡大を図って参ります。
5	P9	ボランティアで行う活動をサポートすべく、しっかりと予算を取り、施策を推進して欲しい。	地域住民による生物多様性の保全・活用を本市が支援する「身近な生きもの里事業」の一層の充実と拡大を図って参ります。
6	P9	本リストを活用し、当該地の開発行為の抑制に努めて欲しい。	開発に際して、事業者が自主的に環境への配慮を検討しやすくするため、本リストを公開し、情報面から支援します。また、環境影響評価制度の運用にあたっては、本リストを活用したいと考えています。